

報告事項 1.

2022年度 事業報告

【公益目的事業】

1. 調査・研究事業の推進

1-1 調査・研究

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展，石油・エネルギーの安定供給，及び地球環境の保全を図るため，部会活動を中心に調査・研究を行った。

1-1-1 部会活動

(1) 製品部会

- 1) ガソリン分科会では，第43回CFRオクタン価照合試験を行った。
- 2) アスファルト分科会では，TLC/FID法によるアスファルト組成分析試験に用いる試薬変更の検討を行った。
- 3) 絶縁油分科会では，以下の活動を行った。
 - a) 絶縁油関連の文献を調査し，最新情報の共有化を図った。
 - b) 生分解性電気絶縁油の普及状況の調査及び保守管理に関する文献を調査した。
 - c) 電気絶縁油中のフルフラールの定量試験方法に関する照合試験を実施した。
 - d) JIS C 2320「電気絶縁油」及びJIS C 2101「電気絶縁油試験方法」の改正に向けた検討を行った。
- 4) 試験分析分科会では，以下の活動を行った。
 - a) 石油製品中のナトリウム分，カリウム分の分析にICP発光法を適用する検討を行った。
 - b) 微量電量滴定法を用いた石油製品中の塩素分の分析法に関する照合試験を実施するための検討を行った。

(2) 装置部会 装置委員会

- 1) 回転機分科会では，設備診断として「潤滑油診断」についての情報収集を実施した。
- 2) 計装分科会では，「脱炭素・カーボンニュートラルに向けた先進技術」と「暗黙知を競争力に転換するDX推進の勘所」について情報収集を行った。
- 3) 電気分科会では，「石油精製・石油化学に従事する電気エンジニアへの技術伝承の取組み」と「電気設備における未発見リスクの発掘と重大事故の撲滅」，「系統連系約款UFR 整定変更に対する対応」を検討し，研究討論会で議論・報告した。
- 4) 設備保全分科会では，「設備技術事例の紹介」についての情報収集・意見交換を行った。

(3) 経営情報部会

下記WGを設置して調査・検討を行った。WG1では，1件の原稿をホームページで公開した。

WG1「石油・エネルギー産業史」

WG2「連続プロセスオペレーション自動化基盤技術の調査」

1-1-2 受託，参加事業

(一財)JCCP国際石油・ガス・持続可能エネルギー協力機関が実施する①産油・産ガス国事業環境整備事業のうち連携促進事業（テーマ別合同シンポジウム(研究・技術)事業），及び②産油・産ガス国高度人材育成支援事業のうち産油・産ガス国研究者交流事業に参加し，調査・研究を実施した。

1-2 成果公開・普及

前述の部会，委員会活動や受託事業で得られた調査・研究の成果並びに創立以来蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を様々な形で広く公開した。石油及びエネルギーに関する情報の普及に努

めることで、国民がこの分野に関心を持ち、石油資源の現状とその有効利用に対する理解を深めること、本分野の研究者・技術者のすそ野が拡大することを目指した。

1-2-1 講演会等（移動大学・リレー講座、支部講演会、JPIJS講演会、部会講演会）

(1) 石油啓発教育（移動大学等）

多くの方々に石油に関する理解や興味を深めてもらうため、大学生（院生を含む）や一般市民を対象として、移動大学「石油関連セミナー」を石油連盟の支援のもとに実施した。2022年度は移動大学では23の大学・機関において講義数60コマを実施し、リレー講座では4大学において講義数43コマを実施した。

(2) 支部講演会等

[北海道支部]

- 1) 第22回北海道支部講演会を企画し、2022年12月9日(金)に実施した（北見市）。
- 2) 日本化学会北海道支部夏季研究発表会を2022年7月23日(土)に共催した（オンライン）。
- 3) 触媒学会北海道支部札幌講演会を2022年12月5日(月)に共催した（札幌市、オンライン）。
- 4) 化学系学協会北海道支部合同冬季研究発表会を2023年1月24日(火)、25日(水)に共催した（札幌市）。
- 5) 触媒学会北海道支部札幌講演会を2023年1月27日(金)に共催した（オンライン）。

[東北支部]

- 1) 第37回東北支部講演会「化学資源高度利用のための技術開発」を企画し、2022年12月1日(木)に実施した（盛岡市）。
- 2) 触媒学会東日本キャタリスセミナー「持続可能社会へ向けた地域の取り組み」を2023年1月19日(木)、20日(金)に共催した（盛岡市）。

[東海支部]

- 1) 2022年10月27日(木)、28日(金)に開催された長野大会（第52回石油・石油化学討論会）では、実行委員会を組織し、準備・運営に協力した。
- 2) 学生向け企業見学会・講演会を企画し、2022年11月29日(火)に実施した（四日市市）。
- 3) 第11回東海支部講演会を企画し、2022年12月15日(木)に実施した（名古屋市、オンライン）。
- 4) 東海地区の2製油所・事業所にて学部・大学院生を対象として8月下旬に行われたインターンシップ事業に協力した。
- 5) 中部化学関係学協会支部連合秋季大会を2022年11月5日(土)、6日(日)に共催した（オンライン）。

[関西支部]

- 1) 第28回学生企業見学会を企画し、2022年8月29日(月)に実施した（堺市）。
- 2) 第29回関西支部セミナーを企画し、2022年11月2日(水)に日本エネルギー学会関西支部と共催した（吹田市）。
- 3) 第31回関西支部研究発表会を企画し、2022年12月2日(金)に日本エネルギー学会関西支部と共催した（東大阪市）。また同日、支部創立30周年記念行事を開催した。
- 4) JPIJS関西地区セミナーコロキウム2022を2022年12月7日(水)に共催した（京都市）。

[中国・四国支部]

- 1) 第40回中国・四国支部講演会を企画し、2022年12月16日(金)に実施した（松江市、オンライン）。
- 2) 第25回中国・四国支部技術交流会を企画し、2023年1月20日(金)に実施した（オンライン）。
- 3) 中国・四国地区の1製油所にて学部・大学院生を対象として行われたインターンシップ事業（オンライン）に協力した。

[九州・沖縄支部]

- 1) 第47回九州・沖縄支部講演会を企画し、2022年10月31日(月)に実施した（オンライン）。

2) 第48回九州・沖縄支部講演会を企画し、2023年3月2日(木)に実施した(オンライン)。

(3) JPIJS講演会

- 1) 第64回年会において、第26回若手研究者のためのポスターセッションを開催し、優秀ポスター賞を8件選定し授与した。
- 2) 長野大会(第52回石油・石油化学討論会)において、国際セッションを企画し、優秀賞を2件選定し授与した。
- 3) プロセス分科会と合同でJPIJS討論会を企画し、2022年7月6日(水)に開催した(南国市, オンライン)。
- 4) 第9回次世代天然ガス利用を考える若手勉強会を企画し、2022年10月8日(土)に浜松市で、2023年3月18日(土)に横浜市でそれぞれ開催した。
- 5) 『ペトロテック』に「JPIJSだより」として行事報告等を掲載した。
- 6) その他、全国においての活動は次のとおりである。

[東日本地区]

- a) 第60回オーロラセミナーを2022年8月に触媒学会と共催した(札幌市)。
- b) JPIJS講演会を企画し、2022年10月26日(水)に開催した(長野市, オンライン)。

[西日本地区]

- a) 第13回触媒科学研究発表会を2022年6月10日(金)に触媒学会西日本支部と共催した(金沢市)。
- b) 第31回若手ケミカルエンジニア討論会を2022年7月15日(金), 16日(土)に化学工学会九州支部と共催した(オンライン)。
- c) 第31回関西支部研究発表会を2022年12月2日(金)に日本エネルギー学会関西支部, 石油学会関西支部と共催した(東大阪市)。
- d) コロキウム2022を2022年12月7日(水)に日本エネルギー学会関西支部, 石油学会関西支部と共催した(京都市)。

(4) 部会講演会

[資源部会]

- 1) 資源講演会「我が国の石油・天然ガス政策の現状およびウクライナ侵攻の影響」を企画し、2023年3月14日(火)に実施した。
- 2) 長野大会(第52回石油・石油化学討論会)において「資源開発」のセッションを企画し、協力した。

[精製部会]

- 1) 31st JPI Petroleum Refining Conference “Recent Changes and Future Challenges in Petroleum Industry”を企画し、2022年10月20日(木), 21日(金)に実施した。
- 2) 第47回精製パネル討論会を企画し、2023年2月17日(金)に実施した。

[石油化学部会]

長野大会(第52回石油・石油化学討論会)において「石油精製・石油化学における水銀等の微量化合物の除去」「ポリマー・オリゴマー」「バイオマス利用技術の新展開」「水素・エネルギーキャリア・CCU」のセッションを企画し、協力した。

[製品部会]

- 1) 2022石油製品討論会を企画し、2022年12月7日(水)に実施した。
- 2) 絶縁油分科会では、第42回絶縁油分科会研究発表会を2022年6月10日(金)に、第6回絶縁油分科会後継者育成講習会を2022年11月18日(金)に企画し、実施した。

[装置部会]

- 1) 装置部会では、長野大会(第52回石油・石油化学討論会)において「装置・設備保全」のセッ

ションを企画し、協力した。

- 2) 回転機分科会では、第21回 回転機研究討論会を2022年9月30日(金)に企画し、実施した。
- 3) 配管分科会では、第18回配管技術セミナーを2022年11月25日(金)に企画し、実施した。
- 4) 設備保全分科会では、第52回装置研究討論会を2022年12月5日(月)、6日(火)に企画し、実施した。
- 5) 計装分科会では、第37回計装研究討論会を2022年3月3日(金)に企画し、実施した。
- 6) 電気分科会では、第21回電気研究討論会を2022年3月9日(木)に企画し、実施した。

[新エネルギー部会]

- 1) 新エネルギー部会講演会「2050年カーボンニュートラル実現への挑戦とエネルギーセキュリティの構造変化」を企画し、2023年2月21日(火)に実施した。
- 2) 長野大会(第52回石油・石油化学討論会)において「バイオマス利用技術の新展開」及び「水素・エネルギーキャリア・CCU」のセッションを企画し、協力した。

1-2-2 規格の制定・普及

[製品部会]

燃料油分科会では次の規格の見直しを実施した。

- * 5S-50-98 [軽油—潤滑性試験方法]

潤滑油分科会では次の規格の見直しを実施した。

- * 5S-55-99 [エンジン油—ホットチューブ試験方法]

試験分析分科会では次の規格の見直しを実施した。

- * 5S-62-11 [石油製品—金属分試験方法]
- * 5S-64-02 [石油製品—塩素分試験方法—微量電量滴定法]

絶縁油分科会では次の規格の見直しを実施した。

- * 5S-58-99 [フルフラーの定量試験方法]

[装置部会]

(1) 装置委員会

1) 機器分科会

次の規格の見直しを実施した。

- * 7S-42-10 [塔, そう, 熱交換器検査基準]
- * 7R-72-06 [縦形容器用ラグサポート]
- * 7S-80-04 [縦形容器用リフティングラグ]
- * 7B-88-15 [機器フランジ漏れ防止対策資料準]

2) 配管分科会

次の規格の見直しを実施した。

- * 7S-14-97 [石油工業配管用アーク溶接鋼管]
- * 7S-15-11 [石油工業用フランジ]
- * 7S-24-00 [バルブの表示方式]
- * 7S-43-08 [石油工業用大口径フランジ]
- * 7S-58-06 [ステンレス鋼鋳鋼製フランジ形軽量耐食弁]
- * 7R-68-95 [バルブの操作方式]
- * 7S-77-18 [石油工業用プラントの配管基準]
- * 7R-78-98 [石油工業用プラントの保温・保冷の設計・施工指針]
- * 7R-81-15 [配管用ガスケットの基準]
- * 7S-84-96 [石油工業用鋼鉄ボス, ブランチアウトレット及びプラグ]
- * 7S-90-02 [管の曲げ加工法] ほか

(2) 設備維持規格委員会

1) 次の規格の改訂及び追補の公開を実施した。

- * 8S-5-22 [計装設備維持規格] 2022年11月1日改訂
- * 8R-14-22 [締付管理] 2022年10月31日改訂
- * 8S-1-18 [配管維持規格] 追補
- * 8S-2-21 [設備維持規格] 追補
- * 8S-6-20 [屋外貯蔵タンク維持規格] 追補
- * 8R-11-19 [防食管理] 追補
- * 8R-12-19 [劣化損傷の評価と対応] 追補
- * 8R-15-18 [フランジ・ボルト締付管理] 追補
- * 8R-16-20 [溶接補修] 追補

2) 設備維持規格の内容に関する講習会及び管理士資格保有者を対象とした更新講習会を2023年1～2月に開催した。

1-2-3 設備維持管理士資格付与

(1) 資格付与

- 1) 設備維持管理士認証委員会において、設備維持規格の内容に関する認証のための評価試験を2023年2月5日(日)に東京及び大阪で実施した。その結果、所定の基準に達した193名(配管・設備100名、回転機47名、電気設備24名、計装設備22名)に設備維持管理士資格を付与した。
- 2) 資格証明証の有効期限が2023年3月31日及び2024年3月31日の管理士資格保有者のうち所定の講習を受講したものに対し、設備維持管理士認証委員会において更新の承認を行った。その結果、309名(配管・設備155名、回転機60名、電気設備32名、計装設備62名)が資格を更新した。

(2) 顕彰

設備維持管理士制度の認知を広げ、制度のさらなる普及を目的に、長野大会で、3事業所に対し設備維持管理士育成優良事業所の顕彰を行った。

1-2-4 会誌(一般誌)

(1) 会誌(『ペトロテック』月刊)を発行し、会員に配布したほか、一部外部に頒布した。

1) 各月の主な内容は次表のとおりである。

巻数 号数	第45巻									第46巻			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
時評	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
座談会	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	7
一般総説・資料	9	8	7	10	12	9	9	9	8	7	8	7	103
在外研究MAP	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
先輩から後輩へのメッセージ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
30代から20代へのメッセージ	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	8
私事白書	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
My研究室ライフ	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	1	0	6
讃嘆石油史!	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ふるさと自慢	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	12
最近始めたこと	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	2	2	9
私の宝物自慢	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
JPIJSだより	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	11
エネルギー知ってるはず	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	11

おすすめの一冊	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
委員会・部会報告	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	7
目次裏統計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
全頁数	80	68	66	66	70	74	78	62	61	68	60	66	819

(2021年度 856頁)

2) 特集記事を以下のとおり掲載した。

*2022年4月号「ようこそ石油・石油化学業界へ～石油からつながる未来～」

*2022年8月号「アンモニアの利用」

*2022年9月号「2021年度受賞講演 (1)」

*2022年10月号「2021年度受賞講演 (2)」

3) その他、国内・海外の最近のニュース、論文誌掲載論文目次、学会活動を報告する「学会の窓」などを掲載した。

1-2-5 広報

(1) 講演会、研究発表会等の学会活動を報道各社に紹介した。

(2) ホームページコンテンツの一層の充実を図るとともに、学会行事や学会活動の成果を随時ホームページにて紹介した。

(3) 長野大会において、市民講座を企画し、実施した。

(4) 会員を始めとするWeb閲覧者向けに実施している『ペトロテック』の過去掲載記事を検索・閲覧するサービスとして、第45巻第12号までの記事を公開した。

2. 研究・技術開発の支援

2-1 研究発表会、石油・石油化学討論会、論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、研究者や技術者の成果発表や情報交換の場として、研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催した。さらにこれらの成果を論文誌として刊行・公開した。

(1) 第70回研究発表会を2022年5月31日(火)に開催した(東京都江戸川区)。

(2) 長野大会～信州でサステナブルなエネルギーと石油を語ろう～(第52回石油・石油化学討論会)を2022年10月27日(木)、28日(金)に開催した(長野市)。

(3) 論文誌『Journal of the Japan Petroleum Institute』(隔月刊)を発行し、冊子は公共会員(17部)及び外部に各号20部を頒布した。2022年度の掲載内容は次表のとおりで、第65巻第5号に函館大会特集論文を掲載した。

本誌オンラインジャーナルとしてJ-Stageに第66巻第2号までを公開した。2022年の論文ダウンロード件数は約127,000件(うち海外は約80,600件)であった。

巻数	第65巻				第66巻		合計
	3	4	5	6	1	2	
号数	3	4	5	6	1	2	6
総合論文	3	2	—	1	3	3	12
一般論文	2	3	5	2	—	1	13
ノート	—	—	2	—	—	—	2
技術報告	—	—	—	—	—	—	0
レター	—	—	—	—	2	—	2
件数合計	5	5	7	3	5	4	29
全頁数	46	36	51	31	30	37	231

(2021年度 305頁)

2-2 研究助成

2023年度の助成金交付対象者を以下の3名に決定した。

- (1) 「二酸化炭素水素化によるメタノールの選択的合成のための触媒設計」 (助成額 70万円)
北海道大学触媒科学研究所 助教 SHROTRI Abhijit 氏
- (2) 「巨大リポソームに再構築した光化学系Ⅱとメタンモノオキシゲナーゼによる光駆動メタン／メタノール変換」 (助成額 70万円)
東京工業大学生命理工学院生命理工学系 助教 伊藤 栄紘 氏
- (3) 「ゼオライト骨格中へのヘテロ原子ペアサイトの汎用的構築法の確立と応用」
(助成額 60万円) 東北大学大学院工学研究科 助教 藪下 瑞帆 氏

2-3 表彰

石油学会表彰規程により、学会賞1件、論文賞2件、技術進歩賞2件、奨励賞5件の授賞を決定した。

【収益事業等】

1. 受託事業

- (1) 製品部会ガソリン分科会において、石油連盟から「ガソリン車の燃料性状感度に関する調査」について受託し、調査を実施した。
- (2) 製品部会燃料油分科会において、石油連盟から「ディーゼル車の燃料供給システム調査」について受託し、調査を実施した。

2. 図書及び標準試料認証・販売事業

2-1 図書販売事業

石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に販売している以下の図書について、出版社より販売部数に応じて販売手数料を得た。

「新版 石油精製プロセス」 「新版 石油化学プロセス」

2-2 標準試料認証・販売事業

2022年度の認証数(販売数)は次のとおりである。硫黄分(1,469)、窒素分(271)、ニッケル・バナジウム分(25)、FIA用(3)、軽油硫黄分(457)、標準ガソリン(105)、引火点(1,586)、分離確認用標準(30)、希釈用ガソリン(34)。総計は3,980であった。

3. 溶接士の認証事業

- (1) 2008年6月から(一社)日本溶接協会にJPI規格4種の免許証発行業務を移管している。2022年度の認証者数は613名で、現在までの累計認証者数は144,619名である。
- (2) 東北・北海道地区溶接功労賞受賞者4名の表彰を行った。

4. 会員交流事業

- (1) 製品部会潤滑油分科会では、JPI-5S-15-05 [陸用ディーゼルエンジンピストン評価法] 及びJPI-5S-25-2008 [ガソリンエンジンワニス評価法] を関連の業界技術者に普及するため、第47回レイティングシンポジウムを2022年11月11日(金)、30日(水)に開催した。
- (2) 装置部会回転機分科会では、以下の活動を行った。
 - 1) 「小型CO₂回収装置」をテーマに新技術発表会を2022年4月8日(金)に開催した。
 - 2) 「燃料アンモニア利用技術の開発」をテーマに新技術発表会を2022年7月8日(金)に開催した。
 - 3) メカニカルシール技術講座を2022年7月、11月、2023年2月に開催した。

- 4) ポンプ技術講座を2022年6月23日(木), 24日(金)に開催した。
- 5) 往復動圧縮機教育講座を2023年2月9日(木), 10日(金)に開催した。
- (3) 装置部会計装分科会では, 若手育成を目的に計装事例交換会を2022年9月5日(月)に開催した。
- (4) 装置部電気分科会では, 以下の活動を行った。
 - 1) 「リチウムイオン電池」をテーマに勉強会を2022年7月7日(木)に開催した。
 - 2) 若手育成・交流を目的とした若手発表会を2022年9月15日(木)に開催した。
- (5) 石油学会表彰規程により功労賞5件の授賞を決定した。

5. 会員向けサービス

毎月1回, 普通会员及び維持会員あてに本会のトピックス, 行事案内, 募集などを記載したメールマガジンを発信した。

【法人管理】

1. 庶務事項

2022年5月30日就任の新役員の登記手続きは7月に終了した。

2. 法人運営

- (1) 法人管理・運営にあたり, 以下の会議を開催した。

理事会 (5回), 運営会議 (5回), 顧問会 (1回), 役員等候補者選定委員会 (1回), 財務委員会 (3回), 職員人事委員会 (6回), 事業活性化委員会 (1回)
- (2) 下記規程類の制定を行った。

*テレワーク勤務規則
- (3) 下記規程類の改定を行った。

*職員人事規程
*職員給与規程
*職員出張旅費規程
*表彰運営規則
- (4) 会員増強活動として, 次の取り組みを行った。
 - 1) 普通会员初年度会費半額キャンペーンを実施した。
 - 2) 主に企業の新入社員, 若手社員を対象に, 『ペトロテック』第45巻第4号に特集記事「ようこそ石油・石油化学業界へ～石油からつながる未来～」を掲載し, 入会勧誘活動を実施した。
- (5) 他学協会, その他の団体から事業の共催, 協賛などの依頼を受けて積極的に協力した。

【会員数の状況】

2022年度末（2023年3月31日）と前年度末の会員数の比較は次表のとおりである。

項目 会員別	2022年 3月31日現在	2022年度会員数の増減			2023年 3月31日現在
		増	減	増または減	
名誉会員	40	2	1	1	41
普通会員	2,466	35	183	△148	2,318
学生会員	170	84	75	9	179
小 計	2,676	121	259	△138	2,538
維持会員					
特級	2	0	0	0	2
1級	11	0	0	0	11
2級	9	0	0	0	9
3級	26	0	0	0	26
4級	25	0	0	0	25
5級	183	3	4	△1	182
小 計	256	3	4	△1	255
公共会員	20	0	3	△3	17
総 合 計	2,952	124	266	△142	2,810

【委員会・部会の会合数】

2022年度の会合数は次表のとおりである（傘下の委員会を含む）。

会 合 名	数	会 合 名	数
通常総会	1	部会部門連絡会	0
理事会	5	資源部会	3
顧問会	1	精製部会	3
運営会議	5	プロセス分科会	15
財務委員会	3	石油化学部会	1
職員人事委員会	6	製品部会	3
役員等候補者選定委員会	4	ガソリン分科会	17
受託事業委員会	0	燃料油分科会	13
事業活性化委員会	1	潤滑油分科会	10
支部長会議	1	アスファルト分科会	4
広報・会員拡大委員会	0	絶縁油分科会	18
ペトロテック編集委員会	11	試験分析分科会	4
Working Group 委員会	72	装置部会幹事会	3
論文誌編集委員会	7	設備維持規格委員会	46
研究・技術企画委員会（含むWG）	4	装置部会委員会	2
表彰委員会	2	機器分科会	2
表彰推薦委員会	1	回転機分科会	25
表彰選考委員会	6	配管分科会	11
研究助成委員会	1	計装分科会	53
教育委員会（含むWG）	4	電気分科会	12
国際研究協力に関する受託事業実行委員会	2	設備保全分科会	17
認証部門連絡会	0	保安分科会	4
設備維持管理士認証委員会	46	経営情報部会（含むWG）	30
溶接士検定委員会	2	新エネルギー部会	5
標準試料委員会	4	次世代バイオ燃料油分科会	0
		合 計	490

【講演会, 討論会, 研究発表会等の実施】

月	日	曜	名 称	開催地	講演数	参加者数
2022年						
5	30 31	月 火	第63回通常総会, 第64回年会—特別講演, 依頼講演, 受賞講演 第70回研究発表会, 第26回JPIJSポスターセッション	東京	48 P87	303
6	10	金	第42回絶縁油分科会研究発表会	京都 ハイブリッド*	10	144
9	30	金	第21回 回転機研究討論会	東京 ハイブリッド*	5 WS6	228
10	20 21	木 金	31st JPI Petroleum Refining Conference “Recent Changes and Future Challenges in Petroleum Industry”	オンライン	12	148
10	27 28	木 金	長野大会～信州でサステナブルなエネルギーと石油を語ろう～ —特別講演, 招待講演, 市民講座 —第52回石油・石油化学討論会	長野 ハイブリッド*	17 200 P15	541
11	18	金	第6回絶縁油分科会後継者育成講習会	香川 ハイブリッド*	3	101
11	25	金	第18回配管技術セミナー	東京 ハイブリッド*	6 PD3	79
12	5 6	月 火	第52回装置研究討論会	東京 ハイブリッド*	10 PD2	123
12	7	水	2022 石油製品討論会	東京 ハイブリッド*	9	103
12	12 13	月 火	第31回日本—サウジアラビア合同シンポジウム (研究・技術)	ダーラン	21 P10	140
2023年						
1	12	木	設備維持規格講習会, 一般及び更新講習会 (電気設備)	東京	—	47
1	13	金	設備維持規格講習会, 一般講習会 (配管・設備)	東京	—	59
1	16	月	設備維持規格講習会, 一般講習会 (配管・設備)	京都	—	44
1	19	木	設備維持規格講習会, 一般及び更新講習会 (計装設備)	東京	—	84
1	20	金	設備維持規格講習会, 一般及び更新講習会 (回転機)	東京	—	92
2	5	日	2022年度設備維持管理士認証のための評価試験 (配管・設備, 回転機, 電気設備, 計装設備)	東京 大阪	—	512
2	17	金	第47回精製パネル討論会	京都 ハイブリッド*	3	149
2	17	金	設備維持管理士更新講習会 (配管・設備)	東京	—	97
2	20	月	設備維持管理士更新講習会 (配管・設備)	京都	—	58
2	21	火	新エネルギー部会講演会「2050年カーボンニュートラル実現への挑戦とエネルギーセキュリティの構造変化」	オンライン	7	49
3	3	金	第37回計装研究討論会	神奈川 ハイブリッド*	4 PD1	92
3	9	木	第21回電気研究討論会	東京 ハイブリッド*	8	74
3	14	火	資源講演会「我が国の石油・天然ガス政策の現状およびウクライナ侵攻の影響」	東京 ハイブリッド*	6	59

P: ポスター, WS: ワークショップ, PD: パネルディスカッション

以上